

# Tom<sup>44</sup>

特集

大学生活、何をする？

START!

富山大学広報誌  
| トムズプレス |

Tom's Press  
Spring  
2018  
Vol.44

人間発達科学部

稲林美梨華

## 富山大学芸術文化学部 パタナシン芸術大学交流展2017

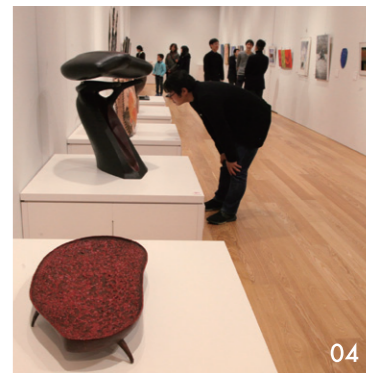
2017年12月、富山大学芸術文化学部は、パタナシン芸術大学との交流展を、富山市ガラス美術館5Fギャラリー1・2で開催しました。本学部は、2012年にパタナシン芸術大学と学術交流協定を結び、学部生・大学院生の留学や教員の派遣、展覧会などを通じて活発な交流を行ってきました。4回目の交流展となる本展では、パタナシン芸術大学の教員と本学部の教員、大学院生及び留学経験者による作品約70点を展示しました。

本展は今回初めて学外で開催し、述べ1,000人を超える方々にご来場いただきました。絵画や彫刻、漆工芸、陶芸、木工、建築など、タイと日本の多彩な表現に触れる貴重な機会となりました。

富山大学芸術文化学部・パタナシン芸術大学交流展2017  
会期 2017年12月9-17日  
会場 富山市ガラス美術館5Fギャラリー1・2  
主催 富山大学芸術文化学部・タイ王国パタナシン芸術大学  
後援 富山市、富山市教育委員会、  
一般社団法人富山県芸術文化協会、高岡市国際交流協会  
(芸術文化学部 / 講師 松田愛)

## TOM'S GALLERY

- 01 手前の絵画の列は、パタナシン芸術大学の教員の皆さんの作品。鮮やかな色づかいが印象的でした。
- 02 会場入口
- 03 12月9日に開催されたオープニングセレモニーでは、作者による作品解説が行われました。パタナシン芸術大学への留学経験をもつ畦地拓海さん(大学院修士)が、自身の漆作品について解説。
- 04 手前は芸術文化学部の高橋誠一教授の乾漆による作品《赤い大地の器》。その奥は齊藤晴之教授の、和紙を用いて紙肌仕上げた漆立体作品《沈黙の空へ》。
- 05 手前は芸術文化学部の中村滝雄教授の鉄の彫刻《表出-Landscape 017-》。
- 06 中央は、芸術文化学部の渡邊雅志准教授による富山県産材を使用した遊具《ボール・ポート》と《虹の平均台》。



### 富山大学広報誌 トムズプレス

発行日：平成30年3月20日

発行：国立大学法人 富山大学

編集：トムズプレス専門部会

- 菊池 万里 大学院理工学研究部(理学) 教授
- 赤尾 千波 人文学部 教授
- 南部 寿則 大学院医学薬学研究部(薬学) 准教授
- 内藤 裕孝 芸術文化学部 講師
- 小泉 桂一 和漢医薬学総合研究所 准教授

問合せ先：富山大学総務部広報課  
〒930-8555 富山市五福3190  
TEL076-445-6028  
FAX076-445-6063  
E-mail kouhou@u-toyama.ac.jp

<http://www.u-toyama.ac.jp/>

Tom's Press はインターネットでもご覧いただけます。

本誌は、富山大学構内などで無料配布しています。郵送を希望される方は、住所・氏名を明記の上、メール又は、はがきでお申し込みください。※お知らせいただいた個人情報、本誌の発送以外には使用いたしません。

本誌は、年4回、3ヶ月毎に発行します。ご意見、ご要望を是非お聞かせください。

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。環境に配慮した紙と植物油インクを使用しています。



無断転載はご遠慮ください。

印刷・製本 株式会社チューエツ

ISSN 1880-6678

### Cover Story

いなほやし みりか  
「稲林 美梨華」 人間発達科学部3年・富山県出身

富山大学人間発達科学部人間環境システム学科で学ぶ稲林美梨華さん。幼少の頃(表紙写真下)、海外へ留学していたお兄さんの元へ遊びに行った際、お兄さんが友人と英語で親しげに冗談を言い合う姿を見て「格好いい！楽しそう！」と感じたという。それ以来彼女は英語が好きになり、英語で思いを伝える楽しさをより多くの人に感じてもらえる仕事かしたいと、地元の富山大学に進学した。ICT(情報コミュニケーション技術)やメディア等を活用した「五感」で学びを感じ、育てるためのスキルは、人間発達科学部だからこそ培われることだと語る。人見知りのない子どもだったと話す彼女の笑顔から、「人が好き」ということが学びの原点なんだと伝わってきた気がした。

表紙・インタビュー担当/丸山桂林 戸井田夏子  
撮影/丸山桂林 (すべて芸術文化学部生)  
表紙監修/芸術文化学部 准教授 渡邊雅志



平成30年度から、便利ながいっぱい!

**Point 4** スマホアプリ「とみだいiNfo」が**新登場!**

2018年3月16日から富山大学のスマホアプリを公開!アプリをダウンロードすると授業に関するお知らせ(休講・補講・試験など)がプッシュ通知で届くほか、キャンパス内やその周辺の店舗(コンビニなど)へのナビゲーションができて、とても便利!



トヤマわくわくマ

**Point 1** 授業に関するお知らせがすぐ届く!

情報は、10分ごとに更新されます。新着情報がある場合は、アイコンの横に「NEW」と表示されるだけでなく、プッシュ通知でお知らせが届くので、見逃す心配がありません。

プッシュ通知で届く情報

- 大学からのお知らせ
- 休講情報
- 補講情報
- 教室変更
- 授業情報

**Point 2** キャンパス内や周辺店舗へのナビゲーション

キャンパス内の施設や教室等を検索することができます。キャンパス周辺のコンビニや飲食店、Wi-Fiスポットも検索できます。

**Point 3** シャトルバス運行表

3つのキャンパスをつなぐシャトルバスの時刻表を確認できます。時刻表が変更になった際にも、プッシュ通知でお知らせが届きます。

**Point 4** 求人情報

就職に関する求人情報を確認することができます。

**Point 5** よく利用するウェブサイトのリンク

富山大学の学生がよく利用しているウェブサイトに外部リンクしています。

- ヘルン・システム
- アルバイト検索(富山大学生生活協同組合)
- 学年暦
- 富山大学公式チャンネル
- 附属図書館
- 全全全部トヤバ



「とみだいiNfo」のダウンロードはこちらから!



**Point 5** 飲食スペースの**拡充!**

第2食堂(工学部)の改修や第1食堂(本店)のテーブル等増設により、飲食スペースを拡充!



食堂の様子(動画)はこちら!

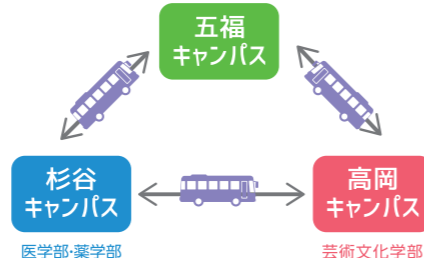
● 第1食堂の営業時間  
平日 8:00~20:00  
土曜 11:30~13:00  
(日曜・祝日は休み)



**Point 6** 3キャンパス間を**シャトルバス(無料)**が運行!

五福キャンパス・杉谷キャンパス・高岡キャンパスをつなぐシャトルバス(50名程度・車椅子乗車可)2台を購置し、3キャンパス間を運行

人文学部・人間発達科学部・経済学部・理学部・工学部・都市デザイン学部



バスに乗って各キャンパスに行ってみよう!



# START!

特集

## 新しい教養教育

2018年4月から、富山大学の教育を結集した「新教養教育」がスタート!新しくスタートする、富山大学の学びのかたちを紹介します。



**Point 1** 1年次の**教養教育**は**全員五福キャンパス**で履修!

これからは、五福キャンパス(人文学部・人間発達科学部・経済学部・理学部・工学部・都市デザイン学部)の学生も、杉谷キャンパス(医学部・薬学部)の学生も、高岡キャンパス(芸術文化学部)の学生も、1年次は全員!五福キャンパス(木・金は所属するキャンパス)で教養教育を履修します。

**Point 2** 179科目の中から「**学び**」が選べる**充実**の**カリキュラム!**

授業科目は、全部で179科目!将来の自分に必要な知識をイメージして授業科目を選びましょう!また、地域を創生する国立大学の学生として、「地域志向科目」を1科目2単位(都市デザイン学部の学生は2科目4単位)以上必ず履修することになります。

地域志向科目とは?…富山の歴史・経済・自然について学ぶ授業のことです。例えばこんな授業があります。

○富山学



【富山学】重要文化財邸宅見学

←「世界中の富山、日本の中の富山」について、水循環、植生、歴史と文化等、様々なジャンルを学ぶ。立山でのフィールドワーク、五箇山での体験授業もある。

○地域ライフプラン



【地域ライフプラン】林正之氷見市長による授業のワークショップ風景

←地域の人の対話を通して地域の課題を捉え、地域でどう生きていくかを考えるとともに、地元定着の意欲、使命感を高める。

地域の課題解決にチャレンジしよう!

教養教育院のウェブサイトがOPENしました!

WEBシラバスやカリキュラム情報、履修登録など、教養教育に関する質問や困りごとがあるときは、ウェブサイトを確認!それでも分からないことがあれば、[五福キャンパス共通教育棟1階 教養教育支援室](#)へ。



**Point 3** キャンパスや学部を越えた幅広い**交流!**

新教養教育では、他キャンパスの学生と顔を合わせる機会がたくさん! どんどん交流して友達の輪を広げよう。

先輩直伝  
友達づくりの  
きっかけ

オリエンテーションの 때가チャンスだと思います。(理学部4年)

話しかけるタイミングは授業の後かな。「今日の授業、わかった?」って自然に話せる。(経済学部4年)

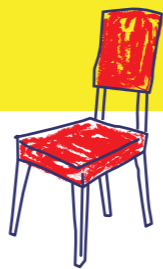
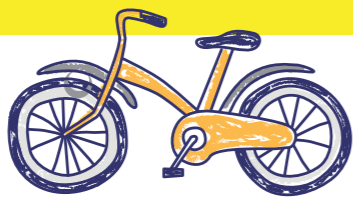
きっかけの言葉としては「学部どこ?」「○○さん、知ってる?」など。(人文学部4年)

学内イベントに参加すると、すぐに友達ができます!(芸術文化学部2年)

「どこの新勧(新入生歓迎会)行った?」と聞く。「○○サークルに面白い先輩がいたよ」とか。(医学部4年)

「ごはん行く?」と声をかける。※体育会系男子には特に効果アリ!(理工学教育部)





# 大学生活、何をやる?



新入生の皆さん、いよいよ大学生活のスタートです!  
富山大学の先輩たちは、どんな毎日を過ごしているのでしょうか。  
授業、サークル、研究活動、下宿生活、就職活動のアドバイスなど、  
今いちばん気になることについて聞いてみました。

／もともと、利用しよう。／

## 富山大学で、できること。

富山大学のサポート体制の一部をご紹介します。



医学部と薬学部の学生が合同で和漢薬の基礎から臨床までの知識を体験的に学べる授業。漢方診断や和漢薬について学んだ後、実際に四診や和漢薬の成分及び薬効解析を体験する。このような総合的な学習により、卒業後に実践できる和漢医薬学を体得できます。

### 「和漢医薬学入門」

杉谷キャンパス



魚津市長から「つづつ地域研究員」に委嘱された受講者が魚津市を实地調査し、地域課題を見出してその解決策を模索し、取組の成果を市に提案する中で、課題発見力、課題解決力、コミュニケーション力などを育み、地域への愛着を高める授業です。

### 「地域再生論演習」

五福キャンパス

## 授業紹介

経済学部



研究風景

## 教育活動

光応答性挙動を研究しています



理学部化学科4年 福島 萌未さん

授業は、勉強というよりも深く調べていく感じですよ。

富大生は、大学生活、どう過ごしている??

## チューター制度(人文学部の場合)

富山大学に入学して1、2年の外国人留学生には「チューター」という日本人学生が付き、留学生の友人として、日本語、勉強、大学生活の色々なお手伝いをします。また、留学生、チューターみんなが集まって、パーティをしたり、旅行に出かけたりもします。

現在、20名程の人がチューターとして活躍しています。期間は1年間で、個別の活動時間は月に約4、5時間程度です。



○留学に関する相談は  
留学支援課  
電話：076-445-0082  
E-mail: ryugaku@adm.u-toyama.ac.jp

富山大学基金では、富山大学に在籍中の学生で28日以上1年以内の海外留学を計画し、一定の成績要件等を満たしている方を対象に、奨学金と授業料の支援を行っています。  
立成29年度の受給者数 7名  
支援を受けたAさんの例(大学間交流協定校に留学)  
留学期間 1ヶ月  
留学先 フランス  
奨学金額 88万円  
留学先の大学が協定校以外の場合、授業料(上限30万円)を受給できる場合があります。ただし、語学の授業のみの場合は授業料支給の対象外となります。

## 留学支援

富山大学基金事業

給付型返還不要  
学生海外留学支援プログラム



留学先のドイツ

金沢大学の1ヶ月短期留学プログラムに参加したことがきっかけで、ドイツのレーゲンスブルク大学に留学しました。留学を経て感じた一番の変化は自分の意見がちゃんと見える度胸がついたことですね。曖昧な態度では「何が言いたいのか?」とスルーされます。授業でも学生同士の会話でも、はっきり言わないと思いは伝わりません。また、留学の目的を明確にしておくことも大事です。周囲の学生たちはガイドや通訳、法律の仕事など、明確なビジョンを持っていて大いに刺激されました。私も、国際的な分野に関わって行きたいです。

ドイツではラジオで会話力をつけました



人文学部 ヨーロッパ言語文化コースドイツ語専攻4年 福田 望汐さん

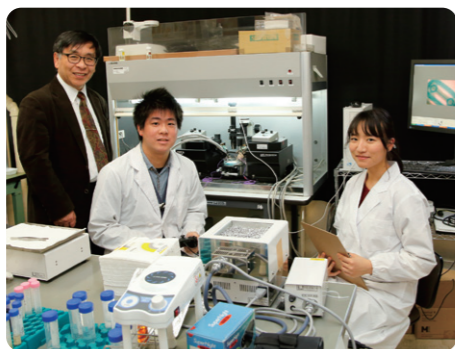
## 留学

留学に戸惑いや苦労は付き物。度胸で楽しさに変換できます!

## Professor's Message

### 教員からのメッセージ

不安があっても一人で悩まないこと。大学は何でもできる場所です。常に前向きで、自分を高めてください。



中村ラボ

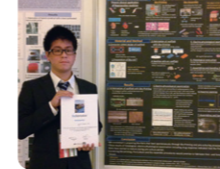
1年生は基礎ゼミに入り、「助言教員」が卒業だけでなく学生生活を親身にサポートします。内容は教員それぞれですが、私のゼミでは、まず大学に慣れてもらうためパワーポイントによる自己紹介からスタートし、研究室での実験見学やものづくり体験などの活動を行っています。3年の12月頃からは研究室に所属し、実験中心の研究活動が始まります。私の研究室では「ラボ」という呼び方をしていますが、教授、准教授、助教に加え、先輩たちとチームを組み、研究活動を通して人間関係の絆を深めていきます。

## ゼミ紹介

大学院理工学研究所(工学) 中村 真人教授



研究風景



北京の国際学会にて「ベストポスターアワード」受賞

3Dバイオプリンターを使って心筋組織や血管などを模倣したゲルのパーツ作製をしています。細胞の挙動を制御する研究は面白いし、やりがいがありますね。国内外の様々な学会にも参加し、昨年は北京の国際学会で研究発表しました。英語でのプレゼンテーションは大変苦労しましたが、周りの教授や先生方に助けってもらったおかげで、「ベストポスターアワード」を受賞することができました。研究室は比較的自由な雰囲気ですね。教授との関係も壁がなく、メンバー同士で研究に対するアイデアを出し合うなど活気のある環境です。

テーマは医学と工学の融合

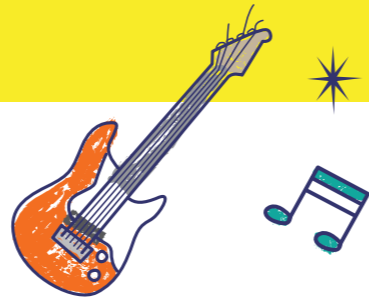


大学院理工学教育部 生命工学専攻 修士課程1年 浜田 裕太さん

## 研究活動

「機械で臓器を作り出す」!? 誰もが驚く研究をしています。





もっともっと、利用しよう！

**富山大学で、できること。**

富山大学のサポート体制の一部をご紹介します。



芸文の作品公開制作2017「シンクロ」  
踊るようにゆれる700本のチューリップ

**GEIBUNオープンエアミュージアムin環水公園**  
豊かな自然に囲まれた環水公園で開催される展覧会。現地で公開制作する作品「芸文の作品公開制作」や、富山県美術館と連携したワークショップ等を開催し、富山の新たな魅力を創出するとともに、地域と協働する楽しさを学びます。



アートデザインイベントを協同で開催しています。参加学生は他大学の学生との交流やイベントの運営、接客を通して、コミュニケーション力や創造力を養います。

**地域活動**

**LIVING ART in OHYAMA**

富山市大山地域では「都市と自然が共生するまちづくり」を推進するため、学生がプロの建築家やデザイナーとともにクラフト作品の制作やものづくりワークショップを企画し、



CM制作、初体験♪

クラフトイベント「高岡クラフト市場街」は、全体統括班の広報としてメディア対応やイベントのPR、ラジオCMの制作も担当しました。市街地を舞台にしたイベントなので地域の協力は必須ですが、「富大芸文の学生です」と一言と皆さんとても協力的でスムーズに物事を進めることができ、地域と密接につながった大学であることを再認識しました。イベントを通して出会った方々は地域を愛し、地域を作る重要な存在だったりします。学べることとはとても大きく、自分の大学生活や就職する際にも大きく影響していくと思います。

まちづくりは、とっても楽しい♪



芸術文化学部  
デザイン情報コース2年  
鈴木 ひかりさん

**課外活動**

高岡を盛り上げるイベントに  
授業として参加できるシニアフェ。

富大生は、大学生活、どう過ごしている？



**高岡キャンパス Tommy Dining**

自主制作の雑貨を展示販売する雑貨屋サークル。年に2回芸文ギャラリーにて作品の展示や販売を行っています。作家としての経験や企画力を磨くことができます。



ぬいぐるみ病院における問診

状態を自分の目で見る活動等を実施。全国の医療系学生と関わるすることができます。

**杉谷キャンパス 国際医療研究会**

園児と学生が一緒に医師さんごっこをする「ぬいぐるみ病院プロジェクト」や、海外の現状を自分の目で見る活動等を実施。全国の医療系学生と関わるすることができます。



新入生向け  
春のまちなかツアー実施

富山市総曲輪通りにある「富山まちなか研究室 MAG-net」を拠点に、学生ならではの視点でまちなかを盛り上げるため、様々なイベントの企画・街の情報発信等を行っています。

**サークル紹介**

**五福キャンパス 街なかマイクアップサポーター**

富山市総曲輪通りにある「富山まちなか研究室 MAG-net」を拠点に、学生ならではの視点でまちなかを盛り上げるため、様々なイベントの企画・街の情報発信等を行っています。



ちよつとも時間が空くと、弓道場へ

弓道部では主将を務めました。僕は高校からの経験者ですが、大学から始めても大会で優勝できる可能性は十分あります。心技体を整えて弓を引く……日々の中を目標として稽古を行います。昨年10月、北信越学生弓道大会では急遽、運営に携わることになったのですが、他キャンパスの部員のサポートは本当にありがたかったです。五福や高岡にも弓道部があるので、学部を超えた交流ができるのも部活動ならでは。稽古をつけてもらう師範や先輩方からは礼儀も教わりました。学業だけでは築けなかった人間関係だと思っています。

弓道で心技体を磨きました



医学部医学科4年  
松田 時生さん

**サークル活動**

礼儀を学び、人間関係を深める。  
部活で得られるものは多いです。

**就職・キャリア支援センター**

**【利用時間】**  
8時30分～17時15分  
土・日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は閉室  
**【場所】**  
五福キャンパス 学生会館2階  
**【連絡先】**  
TEL:076-445-6086, 6043  
E-mail: employ@u-toyama.ac.jp  
**【設備】**  
就職活動利用パソコン4台、DVD視聴用テレビ2台、新聞・雑誌・就職関係図書・DVD



富山大学トップ就職キャリア支援

セミナーなどのイベント情報、過去の進路情報などをウェブサイトで随時発信しています！

**ウェブサイトで情報発信中**

◎ **職業適性診断システム**  
自分の特性・適性がわかる職業適性診断システム(キャリアインサイト)を利用できます。

◎ **求人情報**  
年間約3000件の求人が寄せられており、ヘルンシステムで検索できます。

◎ **進路就職相談【随時】**  
進路就職に関する相談を随時受け付けています。また、模擬面接を受けることもできます。

◎ **ガイダンス・セミナー開催**  
キャリア形成や就職活動に役立つイベントを開催しています。

◎ **就職・キャリア支援センター**  
学生の就職活動キャリア形成を支援しています。

**就職・キャリアサポート**

学生の就職活動キャリア形成を支援しています。



就職・キャリア支援センターで情報収集

私は元々、公務員志望で、受験勉強を始めたのは3年の6月からです。公務員試験対策講座もあるのですが、私は基本の参考書と過去問題集で勉強を重ね、試験に挑みました。もし、アドバンスできるとしたら「経済学や法律科目など公務員試験で良く出る科目は早めに対策しておく」といいますね。その方が余裕をもって試験勉強に集中できます。特に企業と併願の場合、3年の3月以降は企業説明会や選考が増えて、なかなか時間がとれなくなるので、自力での勉強は苦勞もありましたが、魚津市役所への就職が決まって念願だった夢が叶いました。

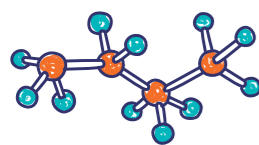
夢が叶いました♪



経済学部 経済学科4年  
村田 亜里沙さん

**就職**

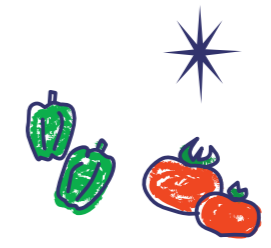
過去問を使った徹底対策で  
念願の公務員試験に合格！



「もっともっと、利用しよう。」

**富山大学で、できること。**

富山大学のサポート体制の一部をご紹介します。



**下宿生活**

得意料理は……  
カレーかな (笑)



理学部地球科学科4年  
寺西 伽羅さん

家事にはなかなか慣れませんが、  
富山での一人暮らしは快適です。

富山大橋から見る夕陽がキレイ。立山が近い。空が広く、山も川も海もある。東京から来て感動しました(雪で歩きづらいくなるのは難点ですが)。初めての一人暮らしで大変なのはやっぱり家事(テスト期間やレポート提出の時でもしなくちゃいけない)。朝はパン、昼は学食ですが、夜は自炊したりアルバイト先のまかないをいただきます。料理はレシピ検索サイトをフル活用です。今住んでいる所は大学から自転車で10分ほど。大学の生協で紹介してもらった物件です。環境もいいし、大家さんも親切。富山は本当に住みやすいと思いますよ。



家族のありがたみがわかりました

富大生は、大学生活、どう過ごしてる?!

先輩に聞きました!

**五福キャンパスで1時間半あったらどう過ごす?**



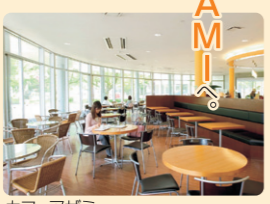
● 学部のリフレッシュスペースで課題をします。  
【理学部4年】



理学部リフレッシュスペース

● 学生会館のラウンジや開放されている空き教室で友達とおしゃべり。  
【人間発達科学部3年】

● 課題があったら図書館。なかつたら友達とカフエAZAMI。  
【経済学部4年】



カフェアザミ

● 自転車を飛ばして銭湯(呉羽の湯)に行く。  
【理工学教育部1年】



● 五福公園で少年野球を見たり、キャッチボールしたり。  
【理学部4年】

● 友達と食堂。  
【人文学部4年】



**学内イベント**

まず自分が楽しむ。これが大事!



人間発達科学部  
人間環境システム学科3年  
夏目 枝津さん

大人、子ども、スタッフたち、  
たくさんの方の笑顔に出会いました。

スマイルフェスティバルは全学部生がスタッフとして参加し、地域の保護者や子どもたち向けに企画した遊びを楽しむイベントです。「おもちゃ工房」の企画代表を務めた私は、スタッフと関わる中で気持ちの伝え方や組織づくりなど人間関係を築く上でとても大切なことを学ぶことができました。このイベントはボランティア活動なので参加したいと思わなければ始まりません。参加したくなる環境をどう作るか。副代表とたくさん話し合っていて楽しい雰囲気づくりを心がけました。「企画良かったよ」という声を多くもらい、嬉しかったです。

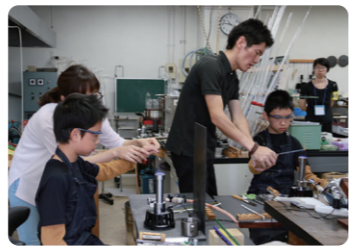


新生生の皆さん、ぜひ参加を!

**学内イベント**

**理工ジョイントフェスタ 9月**

科学と工学の面白さに、子どもから大人まで触れてもらえるよう、理学部主催の「サイエンスフェスティバル2017」と工学部主催の「夢大学in工学部2017」を同時開催しました。さまざまな実験、展示や体験教室等を通して、普段の生活では味わえない大学ならではの体験を、たくさん楽しんでもらいました。



**富山大学祭 10月**

本学では10月を「大学祭月間」として、各キャンパスで大学祭を開催しています。2017年の富山大学祭テーマは「学生達が個性を出し合い、大学祭を彩る」という意味を込めた「イロドリ」。学生、大学、地域が手を取り合い、連日盛り上がりを見せた大学祭となりました。



**自学**

短期集中型でメリハリをつける!



大学院医学薬学教育部  
薬科学専攻 博士前期課程1年  
広澤 千晃さん

国際社会に不可欠な英語力!  
TOEICのハイスコアを目指します。

論文の読み書きや国際的な学会でのプレゼンテーションなど英語力を求められることがとても多く、就職の採用基準としてTOEIC(英語力をはかるためのテスト)のスコアを用いる企業が増えていきます。大変だったのは、研究室が忙しくてまとまった勉強時間がとれないこと。そこで実験やデスクワークの合間など、スキーム時間を有効活用するよう工夫していました。「今しかできない」と思うと意外に集中できるものです。英単語暗記のコツですが、青色のペンは記憶が定着しやすいと聞いて以来実践していて、効果を感じています。ぜひ試してみてください。おすすめです!



図書館は集中して勉強できますね

**図書館紹介**

■ 五福キャンパス

2階にあるグローバルリーニングゾーンには、英語多読本や語学学習教材等があります。多読本は難易度や語彙数でレベル分けがされているので、徐々に難しい本に挑戦して、英語に強くなるう!



■ 杉谷キャンパス

入口を入ってすぐの場所にあるグループ学習スペースはテーブルごとにスペースが区切られており、集中して学習したいときに最適です。連日、学生達に大人気の場所。



■ 高岡キャンパス

**芸術文化図書館**  
ジョン・エイムス・オーデュボン(画家・鳥類学者)の「世界」大きな鳥類図鑑」を展示中。フリーペーパー「Gate」では、先生たちによる芸文生におすすめの二冊も紹介しています。



大学で、何をすべき? その答えは、人それぞれ。

**薬学部**

## 「第2回 薬都とやま未来懇談会 ～薬都とやまを担う人づくり～」を開催

12月14日、杉谷キャンパスにおいて「第2回薬都とやま未来懇談会～薬都とやまを担う人づくり～」が開催されました。県内外の製薬関連メーカー、薬局、病院などから38社が参加し、業界の現在と未来予測、求める人材像、富山大学薬学部に対する要望などについて活発な議論が交わされました。また、懇談会に参加した企業や病院、薬局を中心に40社を集め、1月9日から2月1日まで学生向けの「薬学系業界研究会」を開催しました。



「第2回 薬都とやま未来懇談会」  
薬都とやまを担う人づくり

**医学部**

## 人間発達科学部附属幼稚園で「ぬいぐるみ病院」を開催

12月13日、子どもたちの病院への恐怖心を和らげようと、富山大学附属幼稚園でぬいぐるみを患者に見立て診察の疑似体験をする「ぬいぐるみ病院」が開かれました。医学科、看護学科、薬学部の有志学生計15人と園児38人が参加しました。問診では園児たちが持参したぬいぐるみの症状を医師や看護師役の学生に伝え、学生がぬいぐるみに聴診器を当てたり、熱を測ったりしてカルテを作りました。

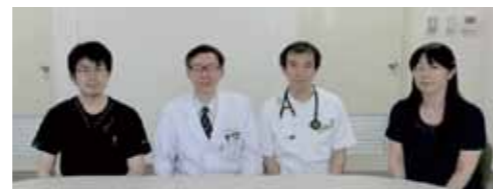


**附属病院**

## 地域も医師も輝ける地域医療の実現を目指して

地域医療総合支援学講座は、富山県の地域医療を支える医師育成を支援するために誕生した富山県の寄附講座です。地域医療に貢献する高い志を持った医学生を対象に、小児科や救急科の先輩医師が臨床の魅力を語るセミナー「キャリアパスガイダンス」を定期的に開催し、早い時期から各自の将来の医師像を考えてもらっています。それに加え、地域の医療を守るため、「どの地域に何科の医師が必要か」についても調査研究をしていて、最も効率的な医師の配置を提案する役割も担っています。地域医療に興味のある学生さんは、気軽にお立ち寄りください。

(地域医療総合支援学講座 客員教授 峯村正実)



地域医療総合支援学講座のスタッフ

**大学院教職実践開発研究科**

## 英国北アイルランドQueen's 大学の教授らによる特別講演

大学院教職実践開発研究科では、11月9日、英国北アイルランドQueen's 大学から教授らを招き、「これからの教育について考える～英国のアクティブ・ラーニングを学ぶ～」と題した特別講演を行いました。新学習指導要領の実施にともない注目が集まっている「主体的・対話的で深い学び」について、さまざまな教科でメディアやICTの活用を通して実現する英国の事例を通して考えました。

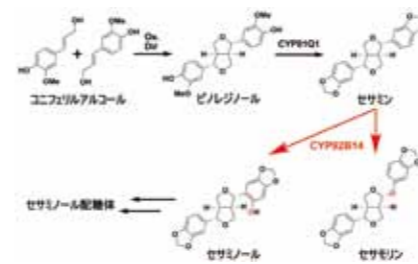


William McClune先生 Aisling O'Boyle先生(中央)

**理学部**

## 山本将之講師らのグループが 新規のゴマリグナン生合成酵素遺伝子を同定

大学院理工学研究部(理学)の山本将之講師、若杉達也教授らの研究グループは、サントリー生命科学財団、サントリーグローバルイノベーションセンター(株)、龍谷大学、神戸大学との共同研究により、ゴマリに含まれる健康成分ゴマリグナンのうち、セサモリンとセサミノールを生成する酵素の遺伝子を特定しました。この研究成果は、12月18日に英科学誌「Nature Communications」オンライン版に掲載されました。



果は、12月18日に英科学誌「Nature Communications」オンライン版に掲載されました。

ゴマリグナンの生合成経路

**人文学部**

## 留学生らが餅つき体験

1月13日、中井精一教授のゼミに所属する学生ら14名が、ゼミ合宿の一環として砺波市定住体験施設「佐々木邸」で餅つきを体験しました。市産のもち米が臼に入れられ、地元住民の助言を受けながら学生がきねを振るい、交代で手返しも体験しました。出来上がった餅はあんこやごま、大根おろしなどで味わいました。中国からの留学生は「中国の餅と違い、初めてついた。力があるが貴重な体験ができた」と声を弾ませました。



地域の方に指導を受けて 留学生には初めてのお餅つき 留学生もあんこを入れて

**経済学部**

## 台湾・玄奘大学の教員らが経済学部を訪問

12月5日、台湾・玄奘大学から黄瑞宜副教授(法学系)ら教員3名が院生6名及び学部生1名と共に来学されました。1時限目には環境法の授業を見学され、2時限目には環境法の受講生と神山智美ゼミ生らと共に交流会に参加され、台湾の会社法改正について講義いただきました。その後中村和之経済学部長らと今後の交流について懇談が持たれた他、今後の部局間交流の可能性について積極的な議論がなされ、和やかな交流の場が持たれました。



## 富山大学と富山銀行が就職活動用冊子作成

富山大学と富山銀行は、富山県内の優良企業を学生に向けて情報提供することで県内就職を促進し、同時に、人材、人手不足の課題を抱える県内企業とのマッチングに繋げることで、地域の活性化を図るため、県内企業紹介冊子を共同作成しました。冊子には企業概要や今後の事業展開、求める人材像、富山銀行が掲載企業を推薦する理由の他、学生が富山銀行の支援を受けて取材を行ったインタビュー記事も掲載しています。冊子は12月28日に完成し、学部3年生を中心に配布されました。



## 富山大学基金事業学生海外留学支援プログラム「奨学生帰国報告会」を開催

1月24日、五福キャンパスで富山大学基金事業学生海外留学支援プログラムの奨学金を受給し留学を終えた学生の帰国報告会が行われました。富山大学基金は平成25年度から本学独自の学生海外留学支援事業として本プログラムを実施しています。報告会には教職員や学生ら45名が参加し、イギリス、ニュージーランド、タイに留学した学生3名から、留学内容や留学先における成果についての報告があり、支援に対しての謝意が述べられました。



留学について報告を行う学生

## 大学独自の海外キャリア研修をタイ王国で実施 ～海外展開する県内企業の魅力発見～

富山大学では、COC+事業「地域定着プログラム」の一環として、海外展開する富山県内企業の魅力発見とグローバル人材育成を目的に、2月26日から3月3日までの6日間、本学独自の海外キャリア研修をタイ国で実施しました。この研修は、田中精密工業(株)の協力を得てタイ国内にあるグループ企業に学生を派遣し、実務研修や現地の従業員との交流等を行うもので、昨年に引き続き2回目の実施です。



研修先企業による国内事前研修

研修先企業の工場視察

**芸術文化学部**

## キュレーションの現場に出向く～富山県美術館企画展を見学

芸術文化キュレーションコースの学生らが、去る12月18日に富山県美術館で開催中の企画展「素材と対話するアートとデザイン」展を鑑賞し、同館の稲塚学芸員の解説のもと、素材の魅力に触発されて生まれる新しいアートとデザインについて理解を深めました。また、同時開催中の国際北陸工芸サミット「ワールド工芸100選」展も見学し、日中韓だけではなくヨーロッパを含めた若手作家による作品を鑑賞することで、工芸の新しい潮流と未来について考えました。



エマニュエルムホー「COLOR OF TIME」の中で「素材と対話するアートとデザイン」展

稲塚学芸員から「KISARAGIアームチェア(KJ201A)」の説明を聞く学生ら

**工学部**

## トイレ排泄データのIoT化による健康クラウドネットワークシステムを開発

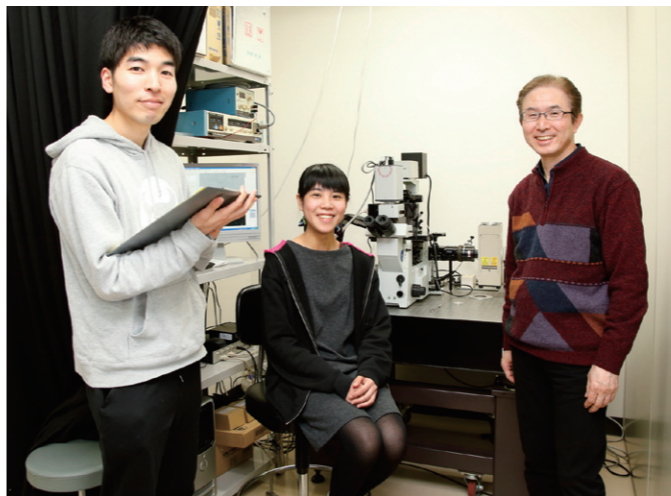
大学院理工学研究部(工学)の中島一樹教授と大学院医学薬学研究部(医学)の北村寛教授らの研究グループは、入院患者の病状や要介護者の健康状態の把握等を目的として、排尿量や回数測定できる既設便器に後付型のデジタルヘルス便座を開発しました。現在、工学部と附属病院において性能を評価しており、平成30年度には富山市内の高齢者施設でも実証実験を行う予定です。本研究の一部は総務省SCOPE(162305003)の委託により実施しています。



# 創薬研究のファイナルゴールは患者さんの笑顔にすること

「私たちのお腹の中には第2の脳がある」と門脇教授は言う。腸は脳からの指示がなくても、独自に生体を維持する優れた機能を持っているからだ。腸管には、生体全体の約70%の免疫細胞。さらには脊髄に匹敵する1億個もの神経細胞があり、厚さ3ミリほどしかない腸管粘膜の中で、神経系と免疫系の細胞がインターネットを形成しクロストークをしている。

研究キーワードは、「病気と創薬」。主なターゲット疾患は、消化管の免疫性疾患である食物アレルギー



少人数の研究室はアットホームな雰囲気

と炎症性大腸炎。どちらも未だに根本的な治療薬のない難病だが、研究室では多くの薬理活性を持つ漢方薬に着目。葛根湯に含まれる成分に食物アレルギー抑制作用があること、また潰瘍性大腸炎の治療に柴苓湯や大建中湯が有効なことなど、これまでに様々な成果を発表してきた。また、昨年は、特定の免疫細胞の活動を抑えることで免疫のバランスが改善し、潰瘍性大腸炎など炎症性疾患の発症を抑えられることを確認。漢方薬や生薬などを使った治療薬の開発につながる成果として大いに期待されている。

## 世界的研究者の言葉が原動力に

大学院ではペプチド科学を専攻。修了後、藤沢薬品工業に入社し、薬理研究所の消化器薬理に配属。遮二無二実験する日々を過ごした。1992年には神経消化器病学のバイオテラである米国「ロビン」大学のマイケル・ガーシオン教授の研究室に留学。世界的研究者から、研究の楽しさ、厳しさと共に創薬研究の素晴らしさを教わったという。

「基礎研究者であり、医師でもあるガーシオン教授は新薬の開発に熱心で、『医科薬科学の基礎研究は、

# 当時のマスコミ関係者のナチとの距離感や思想の変化を探る

フランスの文学や映画などに関心があり、学部生時代には第二外国語にフランス語を選んだ。歴史の研究者としては、「ナチズムがどのように誕生し、台頭していったか？」に興味を抱いていた。これらの視点から、第二次世界大戦中にパリで発行されていた週刊紙「ジュスイバルトゥ」(JSP)が、ナチスドイツという存在とどのように向き合ったのかという問題を主に研究している。

多かれ少なかれどの国でも、戦時下においてマスメディアは、権力の意向が反映され、「表現の自由が規制されてきた歴史がある。1881年に『出版の自由』を法律で定めていたフランスでも、1940年の対独降伏後に発足したヴィシー政権の下、活字ラジオの各媒体は統制下に置かれ、政治的な選択を迫られた。基本的には、ナチに負担するか、拒絶するかの

どちらかだが、状況に適応しつつ、マスコミ各社や書き手たちはさまざまな対応を取った。

「ジャーナリストは『言論空間の中で発信できてこそ、生きていく意味があるから投げ出せない』と考え、ヴィシー政権やナチ当局に面従腹背の姿勢を取ったケースもありました。JSPの場合は、ナチズムを好意的に評価し、自らの意志で対独協力を選択した過激派グループです」。JSPは対独協力の急先鋒となり、共産主義の打倒や反ユダヤ主義を声高に叫んだ。戦後、JSPのオビ・オンリーリーダーだった編集長は処刑されてしまう。

南准教授は2007年から1年間、留学して戦間期から大戦中の新聞や公文書を調べ、当時のマスコミ関係者が抱えていたナチズムとの距離感や、思想の変化などを読み取ってきた。

フランスとドイツは、19世紀後半以降、3度にわたって戦火を交えた歴史がある。だからこそ、「EU(欧州連合)における仏独のパートナーシップの重要性が浮かび上がってきます。両国共通の歴史教科書による教育の試みも進行中です」と、南准教授は指摘する。

## グローバル化の過渡期には理解し合うことが大切

また、ヨーロッパをはじめとして、多くの国や地域が歩んできた歴史は、グローバル社会に生きる現代の日本人にたくさんの知見を与えてくれる。マスコミを

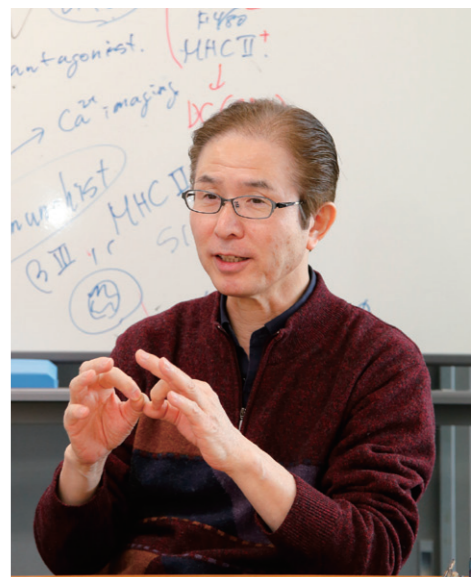
「基礎研究からの贈り物である治療薬や治療法の開発によって、患者に笑顔」を届けることがファイナルゴール」と常々語をされ、大きな影響を受けました」と当時を振り返る。「マコトは研究者としてやっていける」と自信を与えてくれたのもガーシオン教授だったという。

「私たち創薬研究者のミッションは、実際に効果のある有用な薬を世に出すこと。また、そのプロセスに貢献することによって、人類の幸福、福祉と健康維持・増進に貢献することです」と力強く語る門脇教授。世界的研究者からもらった言葉は、今も研究活動を支える大きな原動力になっている。

そんな門脇教授が学生たちによく話すのは、医療や生命科学のニュースを家族にわかりやすく解説できる様な力をつけてほしいということ。「実はこれ、幅広い興味と知識とそれを深掘りする力がないと、なかなか難しい。大学時代に知的好奇心を涵養することはとても大事だと思います」とエールをおくってくれた。

## 食物アレルギーの経口免疫療法に漢方薬を応用

門脇教授の研究室では、本学医学部小児学講座との共同研究として、食物アレルギーの「経口免疫療法」に漢方薬を応用する臨床研究をスタート。未だに治療薬のない食物アレルギーの根本的治療法として、大きな期待と注目を集めている。



和漢医薬学総合研究所 病態制御研究部門 消化管生理学分野 教授

門脇 真  
かどわき まこと

和漢薬を利活用した  
創薬科学研究



第2次世界大戦中に発行された「ジュスイバルトゥ」(複製)

「グローバル化の過渡期において、国際社会はその多様性と複雑性に直面しています。このため、違う基準や価値観をもつ者たちによる衝突はどんなに気を付けていても起こってしまうことがあるでしょう。だからこそ、衝突が起った後には、その複雑性をまずはきちんと認識し、相互理解に向けた努力を積み重ねることが大切なのです」。

人文学部歴史文化講座 准教授

南 祐三  
みなみ ゆうぞう

## 「歴史学」は、いまという時代を生きる我々の問題を考える

高校までは、流れを追って年号と出来事を頭に入れるのが歴史の授業だった。ひたすら暗記することは、歴史の基礎を学ぶという意味では重要だが、苦痛でもある。一方、「歴史学」は過去を対象として、いまを生きる我々が抱える問題を考えるという側面をもつ。「アプローチの仕方に応じて、色んな答えが出てくる」と、その面白さを強調する。

戦時下、パリの週刊紙はナチス・ドイツとどう向き合ったのか？



各キャンパスでいきいきと活動する  
クラブ・サークルをピックアップ!

## スキューバダイビング部(WEDIT)



WEDITは、現在創部4年目になる杉谷・五福・高岡3キャンパスの合同サークルです。

皆さんは真っ青な海の中を自由に泳ぎ、太陽の光でキラキラしたサンゴ礁や悠々と泳ぐ魚達とこの目で、直に見たいと思った事ありませんか。それを最高の仲間達と過ごす事を考えてみてください。一生忘れられない思い出が出来ます。

日々の活動はありませんが、大きな合宿があります。①新入生ライセンス合宿in福井 ②夏合宿in沖縄の離島(宮古島・渡嘉敷・黒島・石垣島) ③春合宿in沖縄本島。これが三大合宿であり、他に、静岡・新潟・和歌山・富山に日帰りして自由に潜りに行っています。また文武両道は勿論、安全対策を徹底し、ショップとの契約で安く潜れているのも魅力の一つです。ぜひ大学からダイビングを始めませんか。話を聞いてみたい方は連絡ください。

wedit.toyama@gmail.com

## 富山大学サイクリング部



こんにちは!富山大学サイクリング部です!この部活は富山県内や日本全国を自転車に乗って旅をしたり、キャンプをしたり、観光したりする部活です。競技部ではないので毎日の練習などもなくゆったり活動しています(笑)

通常は土曜日に県内の名所などの観光をしています。また土日を使った合宿では隣県のキャンプ場で日帰りのキャンプをしています。もちろん移動は自転車ですよ?春夏の長期休業では日本各地で合宿をします。今年の夏は北海道を10日間程度で旅をします。

サイクリング部はゆったりアウトドアな部活です。4月上旬にはお花見や公開サイクリングを予定しているの、自転車に興味がある!キャンプがしたい!全国のグルメを食べ歩きたい!そんな人はぜひ気軽に来てください。

## メールアンケートのお願い

富山大学広報誌「Tom's Press」の今後のより良い誌面作りのため、皆様からのご意見やご要望をお待ちしています。本号のアンケートにご協力いただいた方の中から、抽選で5名様に『富山大学オリジナルマチ付バッグ』(非売品)を進呈いたします。そのほか、アンケート回答者全員に記念品をお送りいたします。

### 【回答項目】

1. 本誌を読んだきっかけ(「〇〇(施設名)に置いてあった」など)
2. 本号で興味を持たれた記事とその理由
3. 表紙デザイン、誌面構成、内容など全体的な感想または印象
4. 関心・興味のある分野、これから取り上げてほしいテーマ、その他ご意見・ご要望
5. 年齢・性別
6. (プレゼントをご希望の方)お名前、ご住所

【メール送付先】 catch@adm.u-toyama.ac.jp

【はがき送付先】 〒930-8555 富山市五福3190 富山大学総務部広報課  
回答項目1~6について、メール又は、はがきに記載の上、上記宛先までお送りください。

<プレゼント応募締切> 2018年5月20日(日)必着

※ご記入いただいた個人情報は、プレゼントの発送以外には使用いたしません。  
また、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。



富山大学オリジナル  
マチ付バッグ  
抽選で5名様

# HELLO

●各界で活躍する先輩からのメッセージ

## ハロー先輩

### 4年間の大学生活でいろいろな経験を

初めまして。私は今、ルネサスエレクトロニクスという会社で車載用パワー、アナログ半導体製品の開発に従事しています。そんな私は大学時代から、半導体の研究を行っていました。その研究内容は現在使われているSiのウエハ上にGaSBという化合物半導体を成長させる研究でしたが、困難と言われていた組み合わせということもあり、前例はほとんどありませんでした。そのため実験条件等をゼロから自分で考えて研究を進めていく必要があり、大変な思いはしましたが、この時の自分で調べ、考え、計画を立てるといふ流れは現在の開発業務でも非常に役にたっているなど感じています。

大学時代に研究していた半導体に大きな興味を抱き、同じ業界で働きたいと思ったことから半導体メーカーに就職しましたが、実際に入社してみるとその業務体系は非常に多岐にわたっており、電気電子系だけでなく、知能情報、機械、化学など様々な分野の方が活躍できるフィールドがありました。ですので皆さんも就職の際は自分の専攻にとらわれずに魅力的に感じた会社があれば、是非チャレンジしてみてください。

大学生活の4年間は比較的時間を自由に使える時期だと思っておりますので、いろいろな経験をしてほしいです。学業、資格取得、アルバイト、趣味、旅行と経験を積み重ねるほど、自分の視野も広がっていきと思います。たくさんの方を経験してたくさんの方と関わればきっと卒業する時には入学時よりもずっと魅力的な人間になっていると思いますよ。



File  
02

勤務先:ルネサスエレクトロニクス株式会社  
卒業年月:平成27年3月  
理工学教育 電気電子システム工学専攻修了

しもやま ひろや  
下山 浩哉 さん

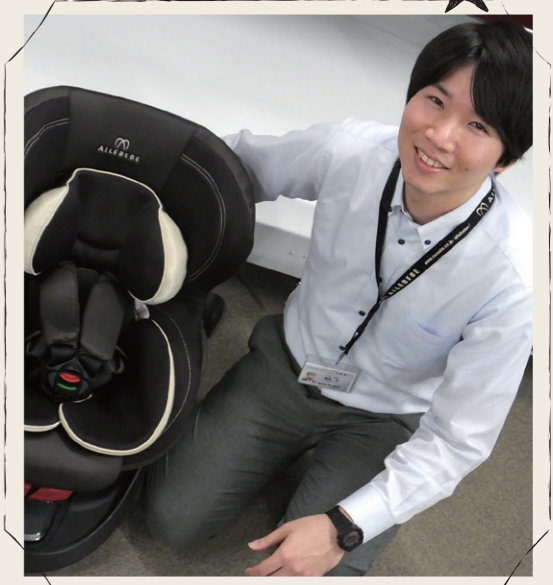
### 「これだ!」と思えることを見つけてください

私は、デザイン工学コースを卒業し、現在カー用品総合メーカーでチャイルドシートの商品企画をしています。

商品企画の仕事は、マーケティングから始まり、コンセプトの明確化、仕様やデザイン、プロモーションなど、商品の企画立案から発売に至るまでの一連のプロセスに関わります。特にチャイルドシートは、安全基準をクリアするために長い開発期間が必要になります。

その中で、企画立ち上げ時は如何に数年先のトレンド(時流)を掴んでいるか。また定期的に店頭でユーザーの声を直接触れることで企画がずれていないかを確認するなど、精度の高い商品に仕上げていくことが、難しくもあり、楽しいポイントでもあります。

話は変わりますが、私は元々製品デザイン



File  
01

勤務先:株式会社カーメイト  
エールベベ 企画グループ  
卒業年月:平成24年3月  
芸術文化学部デザイン工学コース卒業

つるみ しゅういち  
鶴見 秀一 さん

ナーを目指して富山大学に入学しました。

しかし、講義や課題では、製品デザインだけでなく、木工や金工、ビジュアルデザインなど興味があることを幅広く経験し、また課外活動のイベントやコンペを通して、自分自身が何をしたいのか、何が得意なのか、今一度視野を広げて考えることができました。

そんな大学での時間があつたからこそ、将来を柔軟に選択することができ、今の商品企画(プランナー)の仕事へと繋がっているのだと思います。

後輩の皆さんには、富山大学の特長である幅広い学びの場を活かし、自分が得たいと思う経験をを通して、「これだ!」と思えることを見つけたいと思っています。